

I 令和6年度事業実績(見込)・令和7年度事業計画

令和 6 年度事業実績(見込)	令和7年度事業計画
令和7年2月末現在入園者数 有料 232,941 人 無料 120,730 人 総計 353,671 人 前年度比 95.9% (-14,984 人)	年間予定入園者 有料 333,000 人 無料 187,000 人 総計 520,000 人
■ 動物園管理運営 (当初予算額 522,068 千円) ・飼育動物 143 種 610 点(R6.4月現在) ・主な園内行事 ◆ZOO スポットガイド 毎月第3日曜日 ◆飼育の日イベント 4/20、4/21 ◆清水エスパルス コラボイベント 5/18～6/30 (清水エスパルス展+日本平動物園展) ◆大人の飼育体験 5/25 ◆オウム・インコデー 6/15、6/16 ◆アジアゾウ・ダンボ お誕生会 6/15 ◆七夕飾り 7/2～7/7 ◆トヨタユナイテッド静岡 コラボイベント 7/6 トヨタユナイテッド静岡3周年×動物園 55 周年 ◆シロクマキャンペーン 7/15 ◆企画展「あし展」 7/17～9/1 ◆夏の動物園まつり 7/27～8/25 ◆東海道広重美術館 コラボイベント 7/30～10/6 東海道広重美術館開館 30 周年×動物園 55 周年 ◆開園記念日 8/1 ◆サマースクール 8/7～8/9 ◆世界ゾウの日特別ガイド 8/10～8/12 ◆マレーバクの赤ちゃんの一般公開開始と名前投票 8/14～9/1 ◆パトカー・かにぱんお姉さんと写真を撮ろう! 8/17 ◆ハイエナの特別イベント 8/17 ◆国際レッサーパンダデー2024 9/7～9/29 (静岡市ろうあ協会とのコラボあり) ◆夜の動物園 9/21、9/22、10/12、10/13 ◆秋の動物園まつり 10/5～11/4 ◆ロッシー祭 11/23～12/15 ◆世界アリクイの日特別ガイド 11/30、12/1 ◆干支展(巳) 12/10～1/13 ◆世界サルの日特別イベント 12/14、12/15 ◆冬の動物園まつり 12/14～1/13 ◆動物総選挙 1/15～2/24	■ 動物園管理運営 (当初予算議決額 500,877 千円) ・飼育動物 134 種 587 点(R7.2月末現在) ・主な園内行事 ◆春の動物園まつり 3月 ◆夏の動物園まつり 8月 ◆開園記念日 8/1(入園料無料) ◆夜の動物園 9～10 月 ◆秋の動物園まつり 10～11 月 ◆冬の動物園まつり 12～1月 ◆春の動物園まつり 3 月

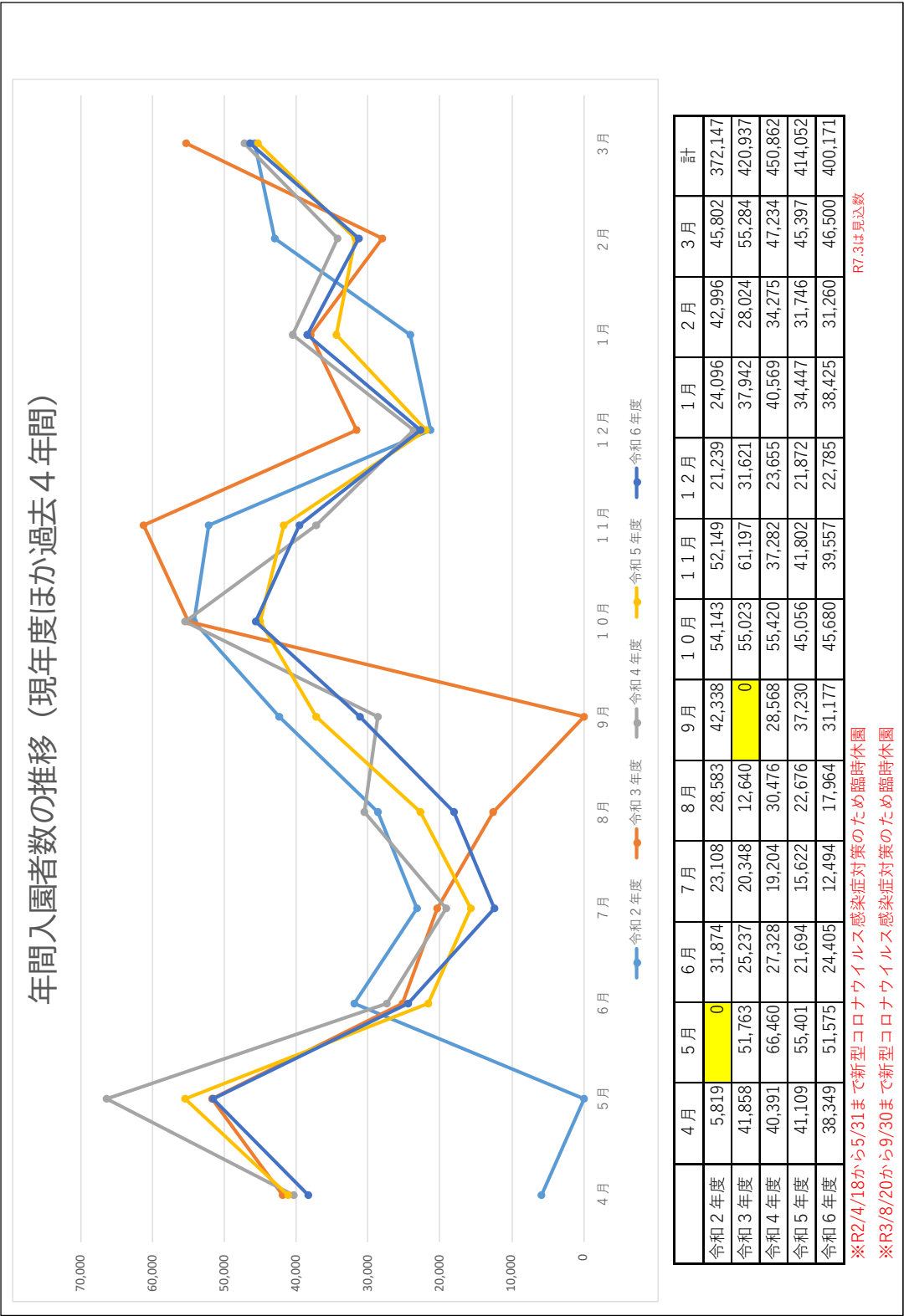
令和 6 年度事業実績(見込)	令和7年度事業計画
◆ハート型花壇の設置(フォトスポット) 2/3～ ◆国際ホッキョクグマの日(4 園共同プログラム含む) 2/15、2/16、2/27 ◆カピバラ温泉 2/15、16、22、23、3/1、3/2 (用宗みなと温泉、おふろ café bijinyu、 しずモール西ヶ谷) ◆ネコの日イベント 2/22 ◆春の動物園まつり 3/1～3/30 ・誘客広報活動 市内交通広告、市街地スクランブル交差点デジタルサイネージ、静岡大学静大祭等での広報活動。 「春の動物園まつり」からチラシの配布先に静岡市ホテル旅館協同組合加盟施設と甲府市を追加。 市内企業に対して福利厚生事業に動物園利用を活用してもらう営業活動の実施。 ■主な園内施設整備 ・山麓山頂駅舎改修修繕 ・類人猿舎等冷暖房設置修繕 ・券売機等新券対応修繕 ■主な動物移動等 <来園> ・チリーフラミンゴ (4月 15 日、川原鳥獣店よりオス2メス1羽来園) ・シロビタイムジオウム (5月 23 日、埼玉こども動物自然公園よりオス1羽来園) ・オシドリ (6月 19 日、浜松市動物園よりオス 1 メス2羽来園) ・カミツキガメ (9月 25 日、静岡大学より性別不明 1 頭来園) ・ポニー (11月 16 日、平沢ライディングガーデンよりメス1頭来園) ・スンダスローロリス (11月 21 日、安佐動物公園よりメス1頭来園) ・ヒゲサキ (11月 28 日、モンキーセンターよりメス1頭来園) ・カンムリシロムク (1月8日、横浜市繁殖センターよりオス 1 メス 2 羽来園) <出園> ・レッサーパンダ (4月 16 日、桐生が岡動物園へオス 1 頭出園) ・ベネットアカクビワラビー (4月 17 日、川原鳥獣店へオス 1 頭出園)	・誘客広報活動の推進 甲信越方面の観光施設への広報強化 修学旅行等の来園や市内企業の福利厚生事業への活用に対する営業活動 ■主な園内施設整備 ・山頂・山麓駅舎改修事業 ・猛獣館・新ホッキョクグマ舎ろ過機修繕 ・熱帯鳥類館防排煙設備修繕 ■主な動物移動等(予定) <来園> ・調整中 <出園> ・調整中

令和 6 年度事業実績(見込)	令和7年度事業計画
・シロフクロウ (4月17日、川原鳥獣店ヘオス2羽出園) ・ヤギ (9月4日、那須どうぶつ王国ヘオス1頭出園) ・オオアリクイ (11月11日、沖縄こどもの国ヘメス1頭出園) ・ヒゲサキ (11月28日、モンキーセンターヘメス1頭出園) ・ブラッサグエノン (11月28日、モンキーセンターヘメス1頭出園) ■ その他 ・第72回日本動物園水族館協会動物園技術者研究会開催 ・(障がい者対象イベント) 「日本平動物園に行こう♪」実施(継続・拡充) ・日本平動物園サポーター認定事業の実施	■ その他 ・借用動物期間更新等調整業務 ・日本平動物園サポーター認定事業(継続)

Ⅱ 令和6年度事業報告

1 入園者の推移

※令和7年2月末現在



2 主な事業実績について

・ZOO スポットガイド

飼育員による特別ガイドを毎月第3日曜日に開催。令和6年度は「獣医のお仕事」、「カピバラ」、「アムールトラ」、「チンパンジー」、「オランウータン」、「堆肥場」、「モルモット」、「アクシスジカ」、「調理場」、「ヤギ・ヒツジ」、「中型サル」、「夜行性動物館」のガイドを行った。



・飼育の日イベント+大人の飼育体験 4/20、4/21、5/25

4月19日の「飼育の日」にちなみ、飼育のことをより知ることができるイベントで、「飼育員のお仕事ガイド(4/20、4/21)」や「サイの背中をブラッシング(4/21)」などのガイドやイベントを実施した。また、4月20日に5月25日に開催する「大人の飼育体験」の参加者を募る抽選会を実施した。「大人の飼育体験」は、当園の飼育員が普段行っている作業を体験できるイベントで、体験当日は参加者15名が飼育員と一緒に動物の給餌の準備や放飼場の清掃等を実施。



・企画展「あし展」 7/17～9/1

「動物のあし」をテーマに、ビジターセンターで開催。あしに関する動物の標本や紹介パネル(肉球、爪、蹄、立ち方など)、クイズの展示を実施。



・夏の動物園まつり 7/27～8/25

当園恒例の「夏の動物園まつり」を開催し、期間中には体験型・観察型イベントを多数実施。8月1日には開園55周年を迎えた。



・国際レッサーパンダデー2024 9/7～9/29

毎年9月の第3土曜日の『国際レッサーパンダデー』に合わせて、レッサーパンダの魅力をPRするためのイベントを開催。期間中はレッサーパンダの生態等を解説したパネルを掲示した。また、9月21日～23日の3日間は、静岡市ろうあ協会と連携し特別ガイドを実施した。(詳細は8ページ参照)

また、(一財)静岡市動物園協会が主体となりチャリティーイベントの実施やチャリティーグッズの販売を行った。

・夜の動物園 9/21、9/22、10/12、10/13

普段見ることの出来ない夜の動物たちの様子を観察できるほか、静岡市ろうあ協会との連携企画(詳細は8ページ参照)や静岡英和学院大学との連携企画(詳細は 12 ページ参照)、環境共生課との連携企画(竹灯籠のライトアップ・電気 自動車から給電を行うなど環境に配慮)、レストハウスでコンサートなどを開催した。



・秋の動物園まつり 10/5～11/4

当園恒例の「秋の動物園まつり」を開催。
期間中は、体験型・観察型イベントを多数実施。



・干支展(巳) 12/10～1/13

2025 年の干支「巳」にちなんだ企画展で、フオトスポットの設置やヘビの生態や特徴、豆知識を紹介するパネル展示を行った。



・冬の動物園まつり 12/14～1/13

令和5年度から「冬の動物園まつり」を開催し今年で3回目。

期間中には体験型・観察型イベントを多数実施。



・春の動物園まつり 3/1～3/30

当園恒例の「春の動物園まつり」を開催。

期間中は、体験型・観察型イベントを多数実施。



・「静岡市ろうあ協会」×「日本平動物園」による連携イベント

「手話言語国際デー」(9月23日)が「国際レッサーパンダデー」(9月の第3土曜日)及び「夜の動物園」(9月21日22日)と日程が近いことから、「静岡市ろうあ協会」と連携して新規イベントを企画した。

◆9月21日22日(夜の動物園)

「夜の動物園」ペンギン舎ブルーライトアップ付近で、手話の挨拶を学びながらブルーライトブレスレットを配付した(先着1,200人×2日間)。



◆9月21日～23日(全3日間)

レッサーパンダ特別ガイドの特別ガイドの内容を、手話で同時通訳した。

また、特別ガイドの前にミニ手話教室「動物の手話を学ぼう！」を実施した。



◆9月23日

動物の手話を学びながら園内を巡る手話スタンプラリーを実施し、完成した人にレッパーくんシールをプレゼントした(1,400人参加)。



・日本平動物園サポーター制度

種の保存の推進や更なる魅力向上等を図るため、本趣旨に賛同いただける方々から広く支援を募り、応援いただいた個人又は団体を「日本平動物園サポーター」に認定する。

支援金は、個人 5,000 円／口、団体 50,000 円／口で、認定期間の1年間で、認定者には、認定証のほか、サポーターピンバッジを交付する。

令和6年8月1日から10月31日まで、令和7年1月1日認定分について募集を実施。

<令和6年度実績>

個人:39件 支援金額 220,000円

団体:0件

支援金は「静岡市立日本平動物園整備基金」に積立て、今後当園が推進する動物の収集や獣舎等の施設整備などの経費に充てていく。

新たな財源確保のみならず、動物園や飼育動物への愛着、応援したいという

強い思いを持つファンとの共感と相互理解の醸成、協力体制の構築などを期待している。

3 企業・大学・地域との連携事業等実績 (令和7年2月末現在)

企業との連携事業のほか、寄附金などにより、来園者サービスの向上や新たな財源確保を図った。

①民間企業との連携

◆清水エスパルス コラボイベント 5/18～6/30

日本平動物園ビジターセンターにおいて、「SHIMIZOO エスパルス展」を、また、清水エスパルスホームゲーム(IAI 日本平スタジアム・令和6年 5 月 26 日・水戸ホーリーホック戦)において、「SHIMIZOO×日本平動物園展」を実施した。

両会場では、清水エスパルスの選手がチャームな動物たちのイラストキャラクターに変身した「SHIMIZOO S-PULSE」のほか、静岡市出身選手6人のインタビュー「日本平動物園の思い出」パネルなどを展示した。また、当園を訪れたお客様先着 10,000 名様に、「SHIMIZOO S-PULSE」オリジナルポストカードをプレゼントした。

ホームゲームで実施した「日本平動物園展」では当園の動物のフォトパネルやレッサーパンダ、オランウータンを題材にした「SDGs 啓発パネル」を展示した。



◆トヨタユナイテッド静岡 コラボイベント 7/6

当園開園 55 周年・トヨタユナイテッド静岡3周年を記念したコラボイベントを実施。トヨタユナイテッド静岡によるイベント企画や飼料の提供により、脳トレラリーチャレンジ、動物たちのお食事タイム(中型サル、アジアゾウ、チンパンジー、ホッキョクグマ)を実施した。



◆東海道広重美術館 コラボイベント 7/30～10/6

当園開園 55 周年・東海道広重美術館 30 周年を記念したコラボイベントを企画して相互PR・誘客を図った。

当園では、「出張！浮世絵スタンプラリー」や「浮世絵缶バッジプレゼント」を実施した。また、東海道広重美術館では、「出張！日本平動物園 かえってきた うきよえどうぶつ館」を実施した。



◆カピバラ温泉 2/15、16、22、23、3/1、3/2

市内の温泉3施設(用宗みなと温泉、ふろ café bijinyu、しずもーる西ヶ谷)からカピバラの温水プールに投入する温泉水を一定量プレゼントいただいた。



◆コストコホールセールジャパン

昨年度に引き続き、コストコホールセールジャパンで発生する牛肉の端材を無償提供いただいた。これにより当園では飼料費の削減、相手方にとっては処理コストの削減のほか、資源の有効活用による SDGsの推進が続いている。

②大学との連携

しずおか中部5市2町で取り組む「大学連携による地域課題解決事業」において、「日本平動物園のPR・集客に繋がる連携事業の実践！」の連携大学を募ったところ、常葉大学、静岡英和学院大学、静岡産業大学が手を挙げてくださり、それぞれ次のとおり連携事業を実施した。

◆常葉大学法学部(丸岡ゼミ)

同大学、静岡市選挙管理委員会事務局、日本平動物園の3者連携により「日本平動物園 動物総選挙」を実施した。これは、日本平動物園の集客・PRのみならず、令和7年3月23日実施の静岡市議会議員選挙の投票率向上、ファミリー層への主権者教育も目的に据え、本物の記載台、投票箱のほか、ポスター掲示版、投票用紙、選挙公報など、可能な限り本物の選挙を模した本格的な「動物総選挙」を実施した。

※投票期間・・・R7/1/15～2/24 ※投票数 14,536 票

※当選動物・・・葵区レッサーパンダ、駿河区ツチブタ、清水区ホッキョクグマ



◆静岡英和学院大学短期大学部(心理学研究室)

夜の動物園の企画ミーティングに学生も参加して意見交換を重ね、夜の動物園(9月10月)の4日間、散策広場においてオリジナルデザインによるフотスポットとイルミネーションを設置して来園者のおもてなしを実施し、賑わいを創出した。



◆静岡産業大学経営学部(岩本武範研究室)

学内や園内でワークショップを重ね、様々な PR方法を検討いただいた。その一つとして、新たなノベルティとして、「オリジナル付箋」を製作・納品いただいた。この付箋は園内のイベントにおいて配付・PRしている。



③地域との連携

「レッパーくんもぐもぐプロジェクト」

市内各地域で活動する竹林整備団体、放任竹林対策に取り組む市環境局、日本平動物園の3者連携により、竹林整備時に発生する竹の葉をレッサーパンダ等の飼料として活用する枠組みを構築中。現在、3者で課題を共有・整理しており、持続可能な仕組みとして確立することを目指している。

※詳細は「ZOO しずおか第98号」P8-9 の特集参照



④寄附金等

品目	金額	備考
園内募金等	718,015 円	当園整備基金に積立て
放任竹林対策活動支援(静岡信用金庫)	500,000 円	同活動への支援に活用
チャリティーグッズ等の売上げの一部	238,620円	「Red Panda Network」へ寄附
園内写真販売の収益分配金	1,582,630 円	雑入へ収入
計	3,039,265 円	

※今後、寄附金等の収入見込みあり。

4 教育・環境教育

こども園等の園児を対象とした幼児動物教室や小学生を対象とした出張動物園ガイド、中学生を対象とした職場体験学習、専門学生や大学生を対象とした飼育実習、獣医学生を対象とした獣医実習等を実施した。

このほか、令和6年度は、静岡県立静岡農業高校生への幼児動物教室模擬体験教室や静岡大学グローバル共創科学部の学生への講義を実施した。

5 展示動物の近況報告について

【ホッキョクグマ】

現在、繁殖に向け1月からロッシーとバニラの同居を行っている。

ロッシー(奥)とバニラ(手前) →



【レッサーパンダ】

今期は和(♂)×ニコ(♀)、守守(♂)×ホーマー(♀)の2ペアを同居させ、繁殖に向けて行動観察を行っている。



和(上)とニコ(下)



ホーマー(上)と守守(下)

6 繁殖動物について

マレーバク

令和6年7月18日、現ペアでは2頭目となるオス(愛称・オリバ)が誕生し、現在もすくすく成長を続けている。

父親「フタバ」・ 母親「オリヒメ」



7 来園・出園動物について

(1)来園動物

種・性別	愛称	来園年月日	来園元
チリーフラミンゴ(オス)		令和 6 年4月 15 日	川原鳥獣店
チリーフラミンゴ(オス)		令和 6 年4月 15 日	川原鳥獣店
チリーフラミンゴ(メス)		令和 6 年4月 15 日	川原鳥獣店
シロビタイムジオウム(オス)	タイ	令和 6 年 5 月 23 日	埼玉こども動物自然公園
オシドリ(オス)		令和 6 年 6 月 19 日	浜松市動物園
オシドリ(メス)		令和 6 年 6 月 19 日	浜松市動物園
カミツキガメ(不明)		令和 6 年 9 月 25 日	静岡大学
ポニー(メス)	ハイジ	令和 6 年 11 月 16 日	平沢ライディングガーデン
スンダスローロリス(メス)	ヒロコ	令和 6 年 11 月 21 日	広島市安佐動物公園
ヒゲサキ(メス)	ラカーユ	令和 6 年 11 月 28 日	日本モンキーセンター
カンムリシロムク(オス)		令和 7 年1月8日	横浜市繁殖センター
カンムリシロムク(メス)		令和 7 年1月8日	横浜市繁殖センター
カンムリシロムク(メス)		令和 7 年1月8日	横浜市繁殖センター



ポニー(ハイジ)



スンダスローロリス(ヒロコ)

(2)出園動物

種・性別	愛称	出園年月日	出園先
レッサーパンダ(オス)	かずのこ	令和 6 年4月 16 日	桐生が岡動物園
ベネットアカクビワラビー(オス)	ハル	令和 6 年4月 17 日	川原鳥獣店
シロフクロウ(オス)		令和 6 年4月 17 日	川原鳥獣店
シロフクロウ(オス)		令和 6 年4月 17 日	川原鳥獣店
ヤギ(オス)	輝(ひかる)	令和 6 年 9 月 4 日	那須どうぶつ王国
オオアリクイ(メス)	妃南(ひな)	令和 6 年 11 月 11 日	沖縄こどもの国
ブラッサグエノン(メス)	ユッシー	令和 6 年 11 月 28 日	日本モンキーセンター
ヒゲサキ(メス)	キーマ	令和 6 年 11 月 28 日	日本モンキーセンター



レッサーパンダ(かずのこ)



オオアリクイ(妃南)

8 死亡動物について

レッサーパンダ

令和6年7月 16 日、タク(オス・14 歳)が死亡(循環器不全)。平成 24 年に埼玉県こども動物自然公園から来園して以来、多くの子どもたちの父親となり、レッサーパンダの種の保存に大きく貢献。



ツチブタ

令和7年1月 25 日、フラハ(メス)が死亡(死因調査中)。平成24年に上野動物園から来園、おだやかで好奇心旺盛な性格で、ペアのゴロファとの間での繁殖が期待されていた。



9 修繕業務について

(1) 山麓山頂駅舎改修修繕

山麓山頂駅舎に設置してあるウッドデッキの老朽化が著しいため、修繕を実施。



(2) 類人猿舎等冷暖房設置修繕

チンパンジーや小型サルを飼育している獣舎には冷房がなく、夏季の室内温度が30度を超えるため、動物福祉の向上及び飼育環境の改善を図るため冷房を設置。



(類人猿舎 室外機)



(小型サル舎 室内機)

(3) 売機等新券対応修繕

令和6年7月に発行される新券に対応するため、券売機の更新を実施。

(4) その他

- ・旧オランウータン舎アルミ扉修繕
- ・オートチェアガイドレール溶接補修
- ・フライングメガドーム歩廊修繕
- ・LED 道路照明取替修繕

等を実施。

Ⅲ 令和7年度事業計画

1 主要事業

動物園の使命である4つの役割に関わる主な事業

(1)種の保存

レッサーパンダ、ホッキョクグマの繁殖管理の推進及び PR

- ・「レッパーくん」を活用したプロモーション
- ・種別計画管理者の役割PR(国際レッサーパンダデー:9月の第3土曜日)
- ・ホッキョクグマ繁殖プロジェクトの推進
- ・来園予定動物・・・調整中

(2)教育・環境教育

「いのちを伝える」教室として定着したふれあい動物園のさらなる飛躍及び動物を通じた環境教育

- ・繁殖を目指した飼育管理と行動観察体制の構築
- ・動物が幸せに暮らせるため、環境エンリッチメント、ハズバンダリートレーニングを計画的に取り組む

(3)調査・研究

種の保存につながる「繁殖推進」と「健康推進」に積極的に取り組む。

- ・行動観察体制の構築(ホッキョクグマ、レッサーパンダ、オランウータンなど)
- ・動物が幸せに暮らせるため、環境エンリッチメント、ハズバンダリートレーニングを計画的に取り組む。
- ・大学等と共同し動物に関する調査及び研究(希少動物のホルモン調査、行動調査等)を実施
- ・各種研究会等への参加

(4)レクリエーション

年間を通じ、民間企業とのコラボイベントの実施等により充実を図り、入園者増及び来園者の満足度アップを図る。

- ・開園記念日(8月1日)は入園料を無料とし、各種イベントを予定
- ・企画展の開催(オリジナル企画展・干支展)
- ・「夜の動物園」4回予定(9～10月の土曜日実施予定)
- ・団体誘客促進のため、企業福利厚生事業活用のための営業活動を実施。
- ・日本平動物園サポーター認定制度の実施

2 主な施設修繕

(1)山頂・山麓駅舎改修修繕

令和6年度予算で来園者の動線範囲など早急に実施する必要がある箇所において、修繕を行った。令和7年度では、動線以外の箇所の修繕、山頂広場遊歩道接続箇所のデッキを取壊し、整備後階段を設置予定。



(2)猛獣館・新ホッキョクグマ舎ろ過機修繕

機器設置後それぞれ 16 年、9年経過し、設備が修繕時期となったため、修繕を実施予定。



(猛獣館)



(新ホッキョクグマ舎)

(3)熱帯鳥類館防排煙設備修繕

建設から 41 年が経過し、昨年度の点検時に不良箇所が発見されたため、修繕を実施予定。

3 その他

① 借用動物期間更新等調整業務

レニングラード動物園(ロシア)より借用(借用期限:令和8年3月30日)しているホッキョクグマ(個体名:ロッキー・オス)の継続展示を行うため、借用期間の延長等に関する協議を行う。



② 日本平動物園サポーター制度

「日本平動物園サポーター」の拡充を図るため、追加募集を行う。

- ・令和7年8月1日認定分・・・令和7年4月1日から5月31日まで募集
- ・令和8年1月1日認定分・・・令和7年9月1日から10月31日まで募集

※募集期間は予定

③ 令和7年ゴールデンウィーク期間中の駐車場事前予約制の実施

例年ゴールデンウィーク期間中は多くの来園者により大変混雑し、駐車場待ちの車両による園周辺道路の大渋滞が発生していることから、駐車場の事前予約制実施により渋滞発生を抑制を図る。また、これにより当園が用意する無料シャトルバスの有効的な運行も見込まれる。

- ・対象期間:令和7年5月3日(土・祝)～同年5月6日(火・祝)
- ・対象台数:800台/日
- ・申込方法:日本平動物園ホームページからWeb申込み
※令和7年4月1日(予定)～(申込順)